

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 779 号	氏名	朝重 耕一
学位審査委員	主 査	下川 功	
	副 査	柳原 克紀	
	副 査	松尾 孝之	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、本学腫瘍外科グループで開発された、癌のリンパ節転移を従来の方法よりも安価で簡便に検出できる Semi-dry dot-blot (SDB)法を用いて、肺癌手術時のリンパ節転移の検出精度を迅速病理診断法と比較し、その有用性を検討したものであり、研究目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>大学病院で手術された肺癌患者の中で同意を得られた 50 例において、術中迅速病理診断を実施した 147 個のリンパ節を対象として、転移の有無を SDB 法と比較した研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、SDB 法の感度、特異度とも術中迅速病理診断と同等であり、両方法の一致率も 98% と高く、SDB 法を術中リンパ節転移診断に応用できることが示された。今後の肺癌外科治療研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は腫瘍外科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（博士）の学位に値するものと判断した。</p>			